

【対馬市CATVの私物化を許すな】

討論会で政策を問え

久しぶりに、朝の目覚めが何と悪かった事か、朝一番、十一チャンネルテレビを点けると、何と対馬長が、公衆の電波を使い五回シリーズで新病院建設について説明をしておられた、朝からご拝顔と喜んでいたら、内容を聞くとこれまたビックリ、新病院建設の経過についての話なら理解出来るが、新病院建設後の現いづはら病院の今後について、ケアーミックス型(医療、介護等を合せた病院)の建設を考えているとの事、現在、百九十九ベッドあるが多すぎるので減らして、ケアーミックス型病院に、市民が聞けば、あたかも、現病院がそのまま残ると錯覚してしまう、疑問点が直ぐ脳裏に浮んだ、基本的計画の実効性はあるのか、介護施設(介護保険)するならば全体計画のあり方はどうか、市民が納める介護保険料は、どれだけ上がり市民の負担となるのか、療養病床(医療保険)とした時に、病床の確保で新病院の経営に悪影響を与えないか、それが市民の負担とならないか。医師の確保はどうか。ハッキリ具体的説明出来る時にすべきである、しかも選挙の争点は、新病院建設が大きい争点の一つともなっている、対馬市二十四年度の予算に、新病院建設の予算(起債額均十一億円)の執行を当選した誰がするか、執行しなければ、新病院建設は出来ないのは当然の事である。【建設か】、【存続か】、【凍結か】市民の信を勝取った人が語る事であり。市民を惑やかす説明は、まさしく来月告示される選挙運動以外のなくものでもない、恥ずかしい限りだ。選挙政策(マニフェスト)は、市民との契約書である、市長選予定者は、自分の政策を、皆が一同に会してハッキリと提案して、立会い討論すべきではないか、来月二月十日(金)夜対馬市交流センターで討論会の予定があると聞く、真に対馬の為に頑張ると謂うならば、己の政策を市民に問いかけて見てはどうか。そんな事も出来ぬなら手を下げて頂きたい。それが対馬市民の為である。